

（問題用紙 4枚中1枚目）

問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（解答は所定の解答欄に記入すること）

この部分は著作権の
関係で公開できません

受 験 番 号

（問題用紙 4枚中2枚目）

受験
番号

この部分は著作権の
関係で公開できません

（野口裕二『物語としてのケア ナラティブ・アプローチの世界へ』二〇〇二、二二二頁^{ページ}より。なお、本文の一部を変更して出題している）

注

（問題用紙 4枚中3枚目）

受験 番号

問一 傍線部（A）「ドウキ」、（B）「イッカン」、（C）「カクトク」、（D）「ダンペン」、（E）「コウズ」のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

問二 傍線部（a）「不可解」、（b）「愉快」、（c）「普遍」、（d）「境遇」、（e）「嘆（き）」の読み仮名をそれぞれひらがなで答えなさい。

問三 傍線部①「物語的理解」とはどのような理解か。本文の説明に即して、簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部②「科学的説明」と「物語的説明」の違いは、本文によれば説明において「一般性・普遍性」をどのように扱うかという点になると読める。この「どのように扱うか」という各々の違いを、本文の内容に即してさらに説明しなさい。
解答用紙には、「科」↓科学的説明
「物」↓物語的説明
としてそれぞれ答えなさい。

問五 傍線部③「偶然と必然の積み重ね」とあるが、偶然と必然の関係についてどのように述べられているか、本文の内容に即して簡潔に説明しなさい。

問六 傍線部④にある「勘違い」と「誤解」の本文中での意味（使い分けがどのようにされているか）を、本文中の表現にn即してそれぞれ説明しなさい。
解答用紙には、「勘」↓勘違い
「誤」↓誤解
としてそれぞれ答えなさい。

問七 傍線部⑤「時間的認識」と傍線部⑥「空間的認識」とはそれぞれどのようなことを指しているか。本文の内容に即して説明しなさい。
解答用紙には、「時」↓時間的認識
「空」↓空間的認識
としてそれぞれ答えなさい。

問八 「物語の現実制約作用」とは、どのような作用か文章全体の内容を踏まえて説明しなさい。

(問題用紙 4枚中4枚目)

受 験 番 号

問九

X

に入る最も適当な語句を次のア～オから一つ選んで記号で答えなさい。

ア つまり イ かえって ウ ところで エ やはり オ かし

問十

Y

に入る最も適当な漢字二字を文章中より抜き出して答えなさい問

問十一

本文は「科学的説明」と「物語的説明」を対比させつつ、「物語」が現実理解に果たす役割を論じている。本文全体の趣旨を踏まえて、この議論の意義をまとめなさい。

問十二

文章全体で述べられている〈物語的説明〉は、看護という営みとどのように繋がってくる
と考えるか、あなたの見解を簡潔に述べなさい。